

小児歯科学 A 講義

1 単位 4 年 (前期)

Pediatric Dentistry

三留 雅人・教授 / 歯学科 小児歯科学講座 (小児歯科学), 有田 憲司・准教授 / 歯学科 小児歯科学講座 (小児歯科学)

原田 桂子・講師 / 歯学科 小児歯科学講座 (小児歯科学), 郡由 紀子・講師 / 歯学科 小児歯科学講座 (小児歯科学), 小口 春久・非常勤講師 / 日本歯科大学東京短期大学

高木 裕三・非常勤講師 / 東京医科歯科大学

【授業目的】 胎児から 20 歳前後までの健康児, 障害児, 有病児の身体的成長, 精神的・心理的発達について理解し, 健全な顎口腔を育成することの臨床的意義と方法とを理解する。

【授業概要】 成長発達期にある小児の顎口腔領域の健全な育成が生涯に亘る QOL を支えることを認識し, 顎口腔領域の疾患や異常の予防, 診察・検査, 診断, 治療の方法ならびに口腔健康管理の方法について理解する。

【授業形式】 講義

【授業方法】 講義形式 ビデオ, スライド, プリントを適宜用いる。

【授業場所】 第 4 講義室

【授業テーマ】 人間としての小児 (小児の人権等), 小児のこころとからだの発育及び小児の顎口腔領域の疾患や異常の予防ならびに治療と口腔健康の増進

【履修上の注意】 小児歯科学 A の授業では各授業毎にキーワードを提示する。① 受講者は各回のキーワードについて事前に予習して理解した内容を簡潔に纏めること。② 受講者は毎回受講後に学習成果を基にキーワードについて再度内容を簡潔に纏めること。また予習時の内容と復習時の内容を比較して学習成果を確認すること。③ 試験は全講義数の 2/3 以上の出席を満たしている者に対して行う。④ 予習, 復習をすることが出席評価に含まれる。

【到達目標】 (<> 内はコアカリ対応)

1. 小児・障害者患者の権利を説明できる。 <A-1-1>
2. 患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 <A-1-3>
3. 小児歯科・障害者歯科における医療面接の役割を説明できる。 <B-2-(2)-1>
4. 人体諸器官の形態と機能の成長・発達変化を説明できる。 <D-2-(4)-1>
5. 歯の発育障害の病因と病態を説明できる。 <F-2-(4)-2-2>
6. 小児期の歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 <F-2-(4)-2-③-2>
7. 小児の身体発育・精神発達の特徴と評価法を説明できる。 <F-2-(6)-1-②-1>
8. 歯科診療時の小児の心理および行動の特徴を説明できる。 <B-2-(2)-4>

9. 乳歯と幼若永久歯の齲蝕予防法を説明できる。 <C-3-(2)-1,2,4>
10. 小児の長期口腔保健管理を説明できる。 <C-3-(2)-3>
11. 乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴を説明できる。 <F-2-(6)-1-②-2>
12. 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類, 適応症, 手順と留意事項を説明できる。 <F-2-(6)-1-②-3>
13. フッ化物の歯面塗布を実施できる。 <F-1-6-(1)>
14. 予防填塞を実施できる。 <F-1-6-(1)>
15. 歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。 <F-3-2>

【授業計画】

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	小児とは	小児歯科学とは	小児と人権, 小児歯科学・小児歯科医療の特性・目的	1,2	三留
2.	心身の発育	発育概論	発育期の分類, 発育の評価法, 精神運動発達	4,7	〃
3.	〃	〃	思春期の身体的・心理的特徴	〃	〃
4.	口腔の発育	歯の発育とその異常	歯の形成と萌出	5	〃
5.	〃	〃	歯の形成障害, 歯の萌出異常	2,3,8	高木
6.	〃	歯列および咬合の発育とその異常	歯列の発育, 発育段階の分類の特徴	4,5,7	三留
7.	乳歯および幼若永久歯	乳歯の特徴・幼若永久歯の特徴	形態的・組織学的・物理化学的特徴と臨床との関係	9,11	〃
8.	小児期の齲蝕	乳歯および幼若永久歯の齲蝕	特徴, 罹患率, 局所的・全身的有害作用, 齲蝕のリスクファクターと予防法	〃	〃
9.	小児の軟組織	口腔の軟組織疾患	小児の軟組織の特徴と疾患	4,11	小口
10.	〃	歯周疾患	小児の歯周疾患の種類と特徴, 予防法	6	三留
11.	小児の歯科治療	治療の前処置	局所麻酔, ラバーダム防湿法	9	〃
12.	〃	乳歯の歯冠修復	歯髄保護, 歯冠修復, 修復処置後の管理	〃	〃
13.	〃	幼若永久歯の歯冠修復	〃	12	〃

14.	〃	小児への歯科的対応法	診療時に必要な心理, 不協力児への対応, 鎮静下での対応	2,3,8	〃
15.	〃	口腔健康管理	診療方針の立て方と実際	10,12	〃

【成績評価】筆記試験を 100 点満点で行い 60 点以上を合格とする。

【再試験】行う。

【教科書】

- ◇ 参考書:小児歯科学 第3版, 医歯薬出版, 2007
- ◇ 参考書:小児歯科患者の臨床的対応 初版, クインテッセンス出版, 2001

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217287>

【連絡先】

- ⇒ 三留 (mitome@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (月~ 金(出向日を除く)17:00~ 18:00/3F小児・教授室/633-7358))
- ⇒ 有田 (088-633-7359, kenji@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (月~ 金(出向日を除く)17:00~ 18:00/3F小児・助講室))
- ⇒ 原田 (088-633-7359, keiko@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (月~ 金(出向日を除く)17:00~ 18:00/3F小児・助講室))
- ⇒ 郡 (088-633-7359, yukiko@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (月~ 金(出向日を除く)17:00~ 18:00/3F小児・第1研究室))